2023年版　外来研修で使用頻度の高い薬（プライマリケア外来で使用頻度が高い薬剤一覧:短期処方）　必ず覚えよう！　本表はあくまで、参考。処方時は、指導医に従う！！

＊添付文書(DI)で要確認　　＊抗菌薬は必要性の是非、治療ターゲット、抗菌スペクトラムを必ず検討＊一部はエビデンスが乏しくても経験的に使用される薬剤も含まれている。

薬効	使用時の症状など	商品名	一般名	使用例（要添付文書確認	備考
解熱鎮痛剤	発熱、咽頭痛へ	カロナール	アセトアミノフェン	500mg 4T4X	頓用使用の場合は、1T 1X
	筋骨関系の痛みなど	ロキソニン	ロキソプロフェン	60mg 3T3X	頓用使用の場合は、1T 1X
	筋骨関系の痛みなど	セレコックス	セレコキシブ	100mg 2T2X	頓用使用の場合は、1T 1X
	腹痛	ブスコパン	ブチルスコポラミン臭化物	10mg 1~2T 1X	頓用で1日3~5回
漢方薬	感冒初期	葛根湯		原則、食前。	原則、1週間以内の処方とする。
	長引く咳	麦門冬湯			
	咽頭痛	桔梗湯		3包　3×　食前	
	鼻汁	小青竜湯			
	便秘	大建中湯			
鎮咳剤		メジコン	デキストロメトルファン	15mg 3T3X	頓服も考慮、上限8T4×
去痰薬		ムコダイン	カルボシステイン	500mg 3T3X	250mgでは6T 3×
		ムコソルバンL	アンブロキソール徐放	45mg 1T 1×	
整腸剤		ミヤBM	酪酸菌（宮入菌）	3ｇ3X	
制吐剤		ナウゼリン	ドンペリドン	10mg 3T3X	頓用使用の場合は、1T 1X
抗潰瘍薬		ガスター	ファモチジン(H2)	20mg 2T2X	せん妄に注意
		パリエット	ラベプラゾール（PPI）	10mg 1T1X	
		ネキシウム	エソメプラゾール（PPI）	20mg 1C1X	
		タケキャブ	ボノプラザン（PPI）	20mg 1T1X	
抗アレルギー剤		クラリチン	ロラタジン	10mg 1T1X	＜眠気がおこり、運転など注意＞と、注意書きに書く
		アレグラ	フェキソフェナジン	60mg 2T2X	
抗菌薬（ペニシリン系 ）		サワシリン	アモキシシリン(AMPC)	250mg 3T3X	抗菌活性確保のため6T3Xなど増量する場合も
		オーグメンチン	アモキシシリン/クラブラン酸(AMPC/CVA)	375mg 3T3X	AMPC不足分の追加も考慮
抗菌薬（第1世代セフェム）		ケフレックス	セファレキシン(CEX)	250mg 6T3X	経口第3世代セフェムは吸収率悪く使用は避ける
抗菌薬（キノロン系）		クラビット	レボフロキサシン(LVFX)	500mg 1T1X	長崎の大腸菌はキノロン高耐性（約40%）
		ラスビック	ラスクフロキサシン(LSFX)	75mg 1T1X	
抗菌薬（マクロライド系）		ジスロマック	アジスロマイシン(AZM)	250mg 2T1X	3日分で1シート
		クラリス	クラリスロマイシン(CAM)	200mg 2T2X	
抗菌薬（ST合剤）		バクタ配合錠	スルファメトキサゾールトリメトプリム	S400mg/T80mg 4T2X	
インフルエンザ治療薬		タミフル	オセタミビル	75mg 2T2X	5日間
		リレンザ	ザナミビル	10mg 2キット2X	5日間
睡眠薬（基本、1週間以内の処方として、主治医外来、専門外来へ紹介。長期処方をしない）		マイスリー	ゾルピデム	5-10mg 1T1X	超短期作用 1処方30日まで
		ルネスタ	エスゾピクロン	1-2mg 1T1X	超短期作用
		レンドルミン	ブロチゾラム	0.25mg 1T1X	短期作用 1処方30日まで
		ベルソムラ	スボレキサント	15-20mg 1T1X	CYP3A阻害薬と併用禁忌
		ロゼレム	ラメルテオン	8mg 1T1X	
		デエビゴ	レンボレキサント	5mg 1T1X	CYP3A阻害薬と併用注意
便秘薬	便を柔らかくする	マグミット	酸化マグネシウム	330mg 3-6T3X	下痢なら休薬を
	腸蠕動亢進	プルセニド	センノシド	12mg 1-2T1X眠前	下痢なら休薬を 連用は×
	腸蠕動亢進	ラキソベロン	ピコスルファートナトリウム	5-10滴ずつ調整　眠前	下痢なら休薬を 連用は×
	小腸水分分泌促進	アミティーザ	ルビプロストン	12-24μg 2C2X	下痢なら休薬を
	腸蠕動亢進	テレミンソフト坐薬	ビサコジル	10mg 1T 挿肛	
	二酸化炭素を発生 あと少しで出そうな便	レシカルボン坐剤	炭酸水素Na,無水リン酸二水素Na	1T 挿肛	
抗めまい薬		トラベルミン配合錠	ジフェンヒドラミン，ジプロフィリン	めまい時　1T1X	
		メリスロン	ベタヒスチン	6mg 3T3X	

＊頓服処方は最大10回まで　投与間隔も記載を　処方例：メジコン15mg 1T1X 10回　咳が止まらない時　6時間あけて

＊湿布は保険審査のため使用枚数と日数の記載が必要。1回処方最大63枚まで(2022年度改定)　処方例：ロキソプロフェンテープ　63枚　1日1枚 63日分

＊湿布名の「テープ」は肌色の伸縮性がある素材、「パップ」は白色の伸縮性が乏しい素材＊漢方はは食前もしくは食間内服。「湯」がつく薬は白湯で溶かして内服。